

ささやま医療センター、県立3高校の存続を

日本共産党の
2議席で未来に
希望がもてる
丹波篠山市へ

プロフィール
1948年生まれ。
市議1期・産業建設常任委員会
芦屋、伊丹税務署などに勤務。
税理士。全日本年金者組合篠山
支部書記長。住吉台在住

生活相談地域 丹南町(旧)
今田町 西紀中 西紀南
西紀中 西紀南 大山 味間
城南 古市 今田

日本共産党 丹波篠山市議会議員

山田きよし

ささやま医療センターを守ろう

地域医療の中核を担うささやま医療センターの存続問題が、住民に不安を広げています。兵庫医科大学「ささやま医療センター」は、昨年12月、約5・8億円の赤字になることを明らかにしました。市に「年間7・6億円の補助金」を打診しています。現在(2022年度)の市補助金は、合計1・8億円強で、あと約5・

8億円の上積みが必要です。大変厳しい状況には間違いありませんが、市民の命を守るのが第一です。市長も「あらゆる方向から取り組み」と明言しています。医療センターの存続のため日本共産党は山田きよしは市民のみなさんと力あわせて頑張ります。

高校統廃合ではなく少人数学級の実現を

県教育委員会は、少子化で定員割れがつついている、県立高校統廃合計画を発表しました。日本共産党の山田きよしは一方的な統廃合には反対です。

黒豆研究で市内の3校いずれも特色ある教育をおこなっています。3校を存続して、少人数学級に踏む出すべきです。



人のいのち・くらしを大切にします

- ・学校給食無料、奨学金拡充をすすめます
- ・子どもの医療費の高校生まで完全無償化実現を
- ・高すぎる国保税を引き下げます

- ・介護保険料の軽減・減免を勧めます
- ・県下一高い水道料金の引き下げを
- ・老朽化している高浜原発はただちに廃炉に

民主党裏金を問題解決

- 「しんぶん赤旗」のスクープがきっかけで明るみに
- 裏金議員はひとり残らず国会で証人喚問を
- パーティー券購入を含む、企業・団体献金の全面禁止を

岸田政権

大軍拡・大増税ノリ、消費税5%減税を

